

小学校
2年

ありがとうを見つけて、ハッピーを広げよう！

彩和学園 富田林市立小金台小学校

単元名 もっと知りたい!まちたんけん ～小金っ子たんけんたい～

単元の目標

町で生活したり働いたりしている人々との関わりを深める活動を通して、自分たちの生活との関わりを見つけ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、町の人々が町に寄せる思い、町の良さ、町の人々の温かさなどに気づき、町の人々への親しみや愛着をもつとともに、相手に合わせて適切に接したり、安全に生活したりできるようにする。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 町で働いている人や住んでいる人の町への思いと、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、自分の町の良さに気付いている。 ② 国語科で学習したことばややりとりの方法を探検活動の中で使うことができる。 ③ 自分たちの活動の良さに気付く。	① 「まち」を思い起こしながら、行先や調べたいことを決める。 ② 町の様々な場所や人と適切に関わり、体験したり、教えてもらったり、疑問に思ったことを質問したりしながら、「まちのすてき」を集める。 ③ 相手のことを想像しながら、伝えたいことを見付けたり、選んだり、決めたりする。 ④ 相手によりよく伝えるために、工夫したり改善したりしながら、多様な方法で表現しようとする。	① 自分が生活している町に関心を持ち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友だちと協力して町の人との交流を深めたりしようとしている。 ② 繰り返し、町の人々と関わる中で、「まち」と身近な人々の良さに気付く、感謝の気持ちと親しみをもって、進んで触れ合おうとしている。

学習展開

小単元名		学習活動
とびだせ!たんけん ～小金っ子たんけんたい～ 「公園のすてき」を見つけよう! 1学期 全5時間	か	「まちのすてき」を見つけるために、計画を立てる。
	じ	まちたんけんて、「公園のすてき」を見つける。
	せ	「公園のすてき」を記録カードにまとめる。
	ま	伝え合う。
自分の家の近くにある、「まちのすてき」を見つけよう! 1学期 全5時間	か	「まちのすてき」を見つけるために、計画を立てる。
	じ	自分の家の近くにある、「まちのすてき」についてを見つける。
	せ	自分の家の近くにある「まちのすてき」をまとめる。
	ま	伝え合う。(国語「こんなもの、見つけたよ」)
もっと知りたい! まちたんけん ～小金っ子たんけんたい～ もっと!「まちのすてき」を見つけよう! 2学期 全24時間	か	もっと!「まちのすてき」を見つけるために、計画を立てる。
	じ	お家の人にインタビューする。探検する。(国語「そうだんにのってください。」)
	せ	インタビューしたことをまとめる。
	ま	伝え合う。
	か	もっと!「まちのすてき」を見つけるために、計画を立てる。
	じ	地域の人やお店の人にインタビューする。探検する。
	せ	もっと!「まちのすてき」をまとめる。
	ま	もっと!伝え合う。【本時】
	か	もっともっと!!「まちのすてき」を伝えるために、計画を立てる。伝える方法を決める。
	じ	たくさんの人に伝えてみて、アドバイスを集める。
	せ	もっとよりよく伝えるために工夫する。
	ま	向陽台小学校2年生に伝える。ガイドブックをつくって、たくさんの人に伝える。

※「か」→課題設定 「じ」→情報収集 「せ」→整理・分析 「ま」→まとめ・表現 を表しています。

指導にあたって

2年生、未来科の年間最後のゴールは、「たくさんのありがとうを見つけて、伝えよう」である。本單元では、様々な人と関わる機会があるため、具体的な「もの・こと・ひと」だけではなく、目に見えないものも想像し、感謝の気持ちをもてるように学習を進めることとする。また、身近な人々や町と関わる中で、それぞれのよさに気付ける力、感じたこと、わかったこと、考えたことを、相手を意識しながら自分なりに表現できる力の育成をめざしていきたい。

本時の目標

来てくれたお客さん（友だちや参観に来られた先生方）に説明を繰り返しながら、「すてき」の内容や表現を工夫しようとしている。【思考・判断・表現 ④】

本時の展開

	主な学習活動と内容	支援（○）と評価（☆）
導入 5分	1. 本時の学習の流れを知り、めあてと見通しをもつ。 <div>㊟ まちのすてきをつたえるじゅんぴをしよう！ ～よりつたわるようにレベルアップしよう～</div>	○伝える対象の確認をする。
展開 28分	2. 伝える。聞く。 お店の人 ・「すてき」を伝える。 ・アドバイスをもらう。 ・空いた時間に、改善点はないか話し合う。 お客さん ・質問や感想を言う。 ・「わかったよ」「？」カードを書く。 ① 前半の活動 ② 後半の活動 ③ 「わかったよ」カードを読む。	○参観に来られた先生方にも、お客さんになっていただく。 ○繰り返し発表する中で、改善点はどこかを考えられるように促す。 ○友だちが伝えたい「すてき」を、自分の言葉で「わかったよ」カードに書いているかどうか確認し、支援する。 ☆自分が伝えたい「すてき」がよりよく相手に伝わるために、「すてき」の内容や表現を工夫しようとしている。 （思考・判断・表現 ④）
まとめ 12分	3. 振り返りをする。 ○カードを読む。 ○個で振り返りカードを書く。 ○書けた子から発表する。 4. 次の時間の見通しを持つ。	○時間があれば、チームで振り返りカードを読み合う。 ○振り返りカードを書きにくい児童がいる場合は、書いた児童の振り返りを紹介する。 ○次回へつなげられるよう、これからの予定を確認する。